

〔ねらい〕

- 文字の組み立て方と配列に気をつけて書く。
- それぞれの文字の組み立て方を理解させ、用紙に合った文字の大きさに気をつけて書く。

〔指導のポイント〕

「友」の指導ポイント

※全体の形が正三角形に収まるようなイメージ(お手本にあるうすい線の三角形)で書くと、どっしりとした安定感が出ます。

一画目(横画)：左斜め上から45度の角度でしっかりと筆を入れ(打ち込み)、やや右上がりに短く進んで、最後は筆を軽く浮かせてしっかり止めます。

二画目(左はらい)：一画目の中心よりやや右側、高い位置から書き始めます。一画目と交差した後は、左下へ向かって伸びやかに、筆の先が最後まで紙から離れないようにスツとはらいます。

三画目(横折れから左はらい)：一画目の下からスタートします。一画目と平行になるように右上がりへ進み、一度しっかり筆を止めて斜めに打ち直します(折れ)。そこから左下へ向かってはらいます。この時、二画目の左はらいよりも高い位置ではらい終わるようにします。

四画目(右はらい)：二画目と三画目が交わった少し下あたりから書き始めます。右下へ向かって、徐々に筆を紙に押し付けるようにして線を太くしていきます。一番太くなったところで一度筆の動きを止め、そこから右横へ向かってゆっくりと筆をまとめていくようにはらいます。**二画目の左はらいの終わりと、四画目の右はらいの角の部分が、同じ高さ(水平)になるようにすると美しく整います。

「好」の指導ポイント

※「女(おんなへん)」と「子」の左右のバランスが重要。へんを少し細めに、つくりをゆったりと書く。

【女(おんなへん)】

一画目(くの字)：左上から打ち込み、左下へ進んでから一度筆を止めます。そこから右下へ方向を変えて短く進み、止めます。

二画目(左はらい)：一画目の始まりより少し右上の高い位置から書き始めます。一画目と交差して、左下へ長くはらいます。

三画目(横画)：左側から右上がりに進みます。右側の「子」のじゃまにならないよう、右側は短めに、左側を長く突き出すようにして、しっかり止めます。

【子】

四画目(横折れ)：「女」の三画目より少し上の位置から書き始めます。右上がりに短く進んでから、しっかり角を作って斜め左下へ向かって短くはらいます。

五画目(縦の曲がりとはね)：四画目の終わりを受け継ぐように、少し丸みを持たせながら下へ向かいます。この文字の中で一番下まで長く伸ばし(お手本の右下にある四角い補助線が示すように、「女」よりも低い位置まで下げます)、少し左へカーブしてから、真上に向かって力強くはねます。

六画目(横画)：五画目の縦画の真ん中あたりを通るように、やや右上がりに筆を進め、最後はしっかりと止めます。

学
校
名

氏

名

友

好

